

災害・環境 リスク軽減



© IUCN: ハイチとドミニカ共和国の国境地帯

背景とパートナー

PEDRR

環境・災害リスク軽減のためのパートナーシップ

Eco-DRRモジュールとは何か？

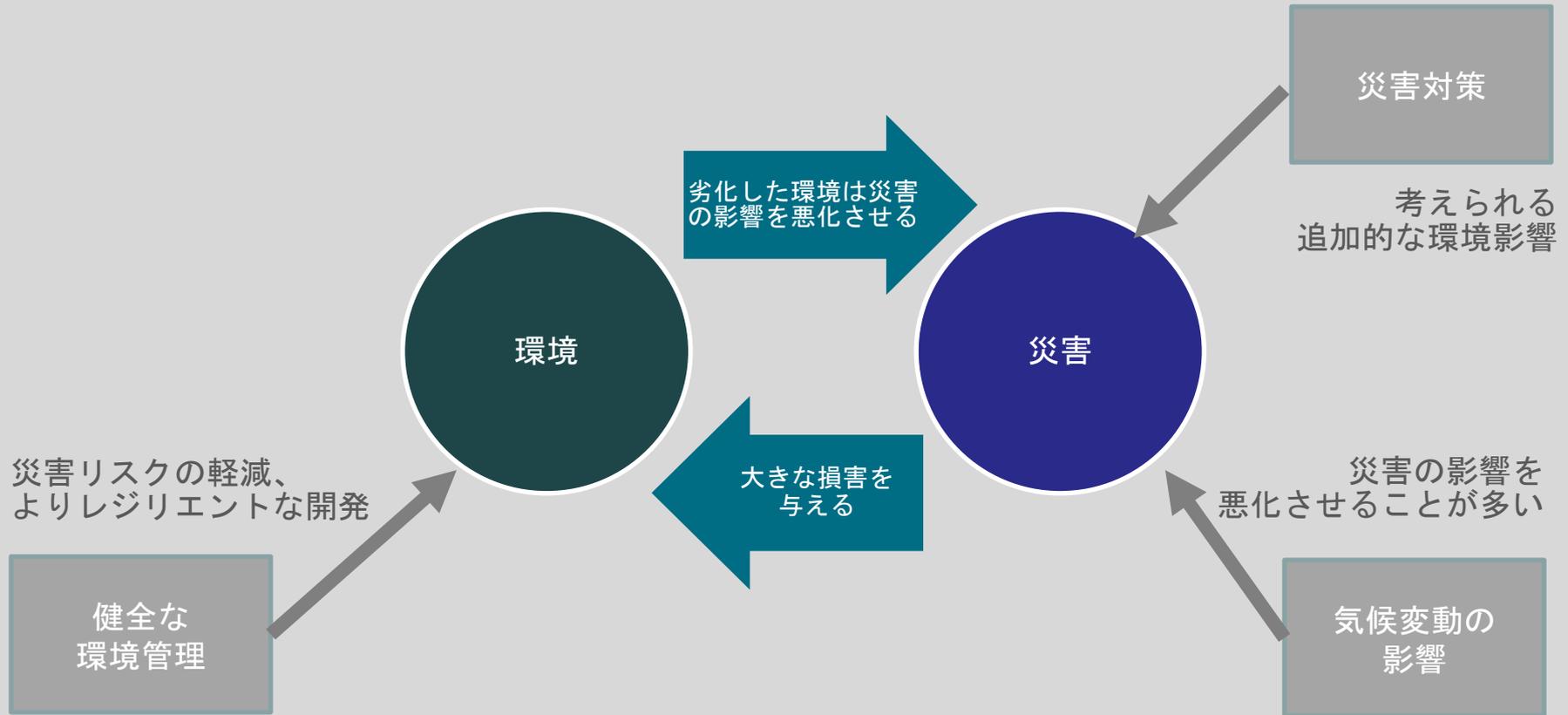


災害・環境・リスク軽減 | 背景・パートナー

MScモジュールの生い立ち

- 本アイデアは、天然資源開発センター(CNRD)の第3回ネットワーク会議で生まれた。
- 本選択制大学院モジュールを共同開発するための協力協定が締結
- CNRDの10大学が協力して、2012/2013年冬学期以降に実施。
- 指針：
 - 実装の柔軟性
 - 実施のためのモニタリング・支援体制の確立
 - 徐々にオープンソース化していくか、場合によってはe-learning化する。

環境と災害は、様々な形で相互に影響しあっている



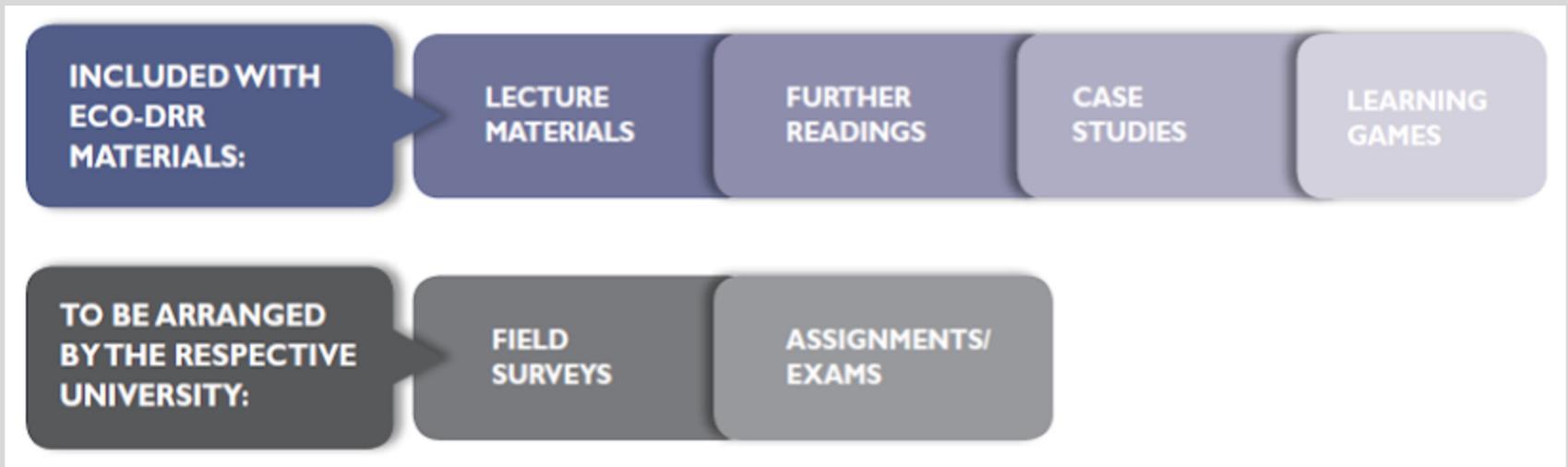
複雑なテーマを扱う大学院コースの必要性

期待されるモジュールの成果

- 「災害・環境・リスク軽減」をテーマにした大学院レベルのアカデミックコースに期待される効果：
 - 本テーマについて体系的なトレーニングを受け、研究や応用に発展させることができる学生世代を生み出す。
 - 本分野でより多くの研究活動が行われるようになる。
 - さらに研究を進めることで知識のギャップを解消し、学生や講師は、実用的でアップスケール可能な新しいアプリケーションを提案することができるようになる。
 - 今後、より多くの学際的な関心とナレッジ・プロダクツを生み出すことになる。

概要

- 50時間分の教材に加え
 - 様々な国のケーススタディ
 - ロールプレイとエクササイズ
 - 視聴覚メディア
 - サポート教材



概要

- 「Eco-DRR講師用マニュアル」で授業がスムーズに。
- Eco-DRRのテーマを扱うあらゆる修士プログラムで実施できるように精緻化。
- 世界15カ国以上の国や機関の研究者・実務者による編集。



モジュール構成

ブロック名	講義時間	内容
1.災害リスク軽減の要素	15時間	グループワーク1回を含む10回のセッション
2.生態系を活用した災害リスク軽減	15時間	グループワーク1回、ケーススタディまたはエクスカージョン1回を含む全8回
3.Eco-DRRの手法とアプローチ	15時間	ケーススタディまたはエクスカージョンを含む9セッション
4.環境と災害リスク軽減の主流化	5時間	ロールプレイ1回を含む4回のセッション

開発者

PEDRR

Partnership for Environment
and Disaster Risk Reduction



International Union for
Conservation of Nature
(IUCN)



United Nations
Environment Programme
(UNEP)



UNITED NATIONS
UNIVERSITY

UNU-EHS

Institute for Environment
and Human Security



World Wide Fund for
Nature (WWF)

CNRD

Center for Natural Resources
and Development



Universidade
Federal
Fluminense

Brazil



PONTIFICIA UNIVERSIDAD
CATOLICA
DE VALPARAISO

Chile



Ain Shams University

Egypt



Fachhochschule Köln
Cologne University of Applied Sciences

Germany



Universitas Gadjah Mada

Indonesia



University of Jordan

Jordan



Universidad Autónoma
de San Luis Potosí

Mexico

UNIVERSIDAD AUTÓNOMA
DE SAN LUIS POTOSÍ



Universidade Eduardo
Mondlane

Mozambique



Tribhuvan University

Nepal



Vietnam Academy for
Water Resources

Vietnam

その他のパートナー



インスブルック
大学

オーストリア



スペイン



UNIL | Université de Lausanne

スイス



ĐẠI HỌC HUẾ
HUE UNIVERSITY

ベトナム

PEDRRとは？

- 生態系を活用した災害リスク軽減に関する調整、情報共有、政策提言、科学的調査、実施のための、非公式・共同プラットフォーム。
- 重要/戦略的なイベントでの共同関与、共同制作物（科学的出版物、政策文書）を作成。
- 目的：科学、実務者の経験、先住民の知恵に基づいて、災害リスク軽減と気候変動適応のための生態系管理における専門性の蓄積、政策変更と優良事例を提唱すること。



©Siriporn Sriaram

<http://www.pedrr.org>

環境・災害リスク軽減のためのパートナーシップ



❖ 2008年設立

❖ 現在、24の国連機関、国際機関、市民社会団体からなるグローバルアライアンスが結成され、さらに拡大している。

Eco-DRRに関する科学と政策の架け橋



1. グローバル・アドボカシー
2. 科学/ナレッジ・プロダクツ/出版物
3. 技術支援／能力強化
4. パートナーシップ
5. 各国におけるEco-DRRアップスケールのためのパイロット事業やモデルの共有

PEDRR

Ecosystems for Adaptation
and Disaster Risk Reduction

CNRDとは？

- 世界の27大学のネットワーク
- CNRDは、自然資源管理（NRM）の分野、特に水、土地、生態系、再生可能エネルギー資源に関連した学術交流と協力を促進する高等教育機関のグローバルネットワーク。



主要開発者と連絡先

名前	機関	連絡先
カレン・スッドマイヤー	国連環境計画、スイス	Karen.sudmeier@un.org
ウド・ネーレン博士	ケルン応用科学大学、ドイツ	udo.nehren@fh-koeln.de

レビュアー

アライ・エル・バハラウィー教授（アインシャムズ大学、エジプト）

ジュヌン・サルトハディ博士（ガジャマダ大学、インドネシア）

その他の協力可能な分野

大学でEco-DRRモジュールを導入することにより
広がりうる選択肢：

- 他の実施大学や大学講師との知見交換
- 他のパートナー大学からのゲスト講義／他のパートナー大学へのゲスト講義
- フィールド訪問の機会/学生の交流
- PEDRRのパートナー、CNRD傘下の大学、共同研究機関の間での共同研究の可能性
- 学生の修士論文の研究テーマ
- 他の実施大学が主催する科学的ワークショップへの参加

詳細は
Karen Sudmeier
DRRシニアアドバイザー
国連環境計画
危機管理局
karen.sudmeier@un.org

Pedrr.org
Pedrr.secretariat@gmail.com

支援機関：



DAAD

Deutscher Akademischer Austausch Dienst
German Academic Exchange Service

日本語訳版は、総合地球環境学研究所Eco-DRRプロジェクト（RHIN 14200103 代表：吉田丈人）の一環として制作された。

©2022 CNRD & PEDRR, 総合地球環境学研究所Eco-DRRプロジェクト, 日本語翻訳版

日本語版監修：古田尚也（大正大学, IUCN日本リエゾンオフィス, 総合地球環境学研究所）

翻訳：松尾茜、久山哲雄（地球環境戦略研究機関）



Research Institute for
Humanity and Nature
大学共同利用機関法人 総合地球環境学研究所
人間文化研究機構

PEDRR

環境・災害リスク軽減のためのパートナーシップ